


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立田園調布特別支援学校</b>		知的障害	通学区域	大田区・目黒区・世田谷区の一部地域		
	「生徒一人一人が、社会参加と自立できる学校」 ～生徒の可能性を導き、地域に貢献する学校～			基	進路実績	一般就労率22%就労希望者に対する内定率100%	
基本情報	所在地	〒145-0071 大田区田園調布五丁目43番6号	電話番号 03-3721-6861	本 情 報	教 育 課 程 の 特 徴	① 外部専門家を活用した授業力の向上	
	アクセス	(1) 東急東横線・目黒線 田園調布駅下車 徒歩20分 (2) 東急東横線・目黒線・多摩川線 多摩川駅：二子玉川駅行バス 玉川温室村下車 徒歩3分 (3) 東急田園都市線・大井町線 二子玉川駅：多摩川駅行バス 多摩川温室村下車 徒歩3分				② 教育課程の類型化を実施、一人一人に応じた進路の実現	
設置学部	高等部		③ 生産から販売までの一連の流れを総合的に体験できる作業学習				
幼児・児童生徒数	113名(1年:40名、2年:33名、3年:40名)		④ 落ち葉回収等を通じた地域一体型の特別支援教育の推進				
学級数	17学級(1年:6学級、2年:5学級、3年:6学級)		⑤ 地域の清掃活動や近隣の高齢者サービスセンター等への貢献活動				
報	スクールバス	4台(小型)		副籍実施状況		学校評価	回収率(保護者89% 教職員100%) 保護者満足度:98%
	その他	オリ・パラ事業文化プログラム・学校連携事業実施校、スポーツ教育推進事業実施校、都立特別支援学校における社会貢献活動校 他		ホームページ	<a href="http://www.denenchofu-sh.metro.tokyo.jp/">http://www.denenchofu-sh.metro.tokyo.jp/</a>		

目指す学校 ①個々の能力を最大限に引き出し、社会参加と自立に必要な力を育む学校 ②心と体の健康づくりを積極的に進め、安心・安全な学校 ③いじめや体罰のない学校全体で人権意識を高め合う学校 ④生徒・保護者の期待に応えられ、地域に貢献できる学校 ⑤地域に開かれ、特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>教員の専門性と授業力向上による学習指導の充実</b> ・教育課程の類型化の推進と内容の検証・改善 ・外部専門家と連携した教育内容の充実・授業力向上 ・個に応じた教材の工夫・ICT機器活用による指導の充実 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進及びレガシーの構築 ・卒業後を見通した進路指導・学習の充実	教育課程の類型化を推進し、教育課程プロジェクトを中心に行事や作業学習等について検討し、改善を図った。また、生徒一人一人に応じた指導の充実を図るため、キャリア教育や就労支援の専門家を講師に招いて研修等を実施し、授業力の向上を図った。ICT活用研修では、教材の研究・開発を行い、授業に活かした。オリンピック・パラリンピック教育においては、食育も含め、横断的に指導にあたった。今年度は、文化プログラム・学校連携事業も実施し書家や音楽家を招聘し、共にパフォーマンスを行った。オリンピックを7月にパラリンピアンを2月に招聘し、実技・講演会を開催した。進路指導では、保護者への進路説明会を7回実施する等、家庭との連携を密に図りながら進めた。	
目標②	<b>地域との連携・貢献と特別支援教育の推進</b> ・落ち葉回収を通じた地域交流の推進 ・地域と連携した作業学習(販売・喫茶等)の充実 ・進路希望に沿った就労内定率の向上 ・近隣中学校等を対象とした清掃研修会の実施 ・日本の伝統・文化教育の推進(煎茶道等)	地域と連携し、落ち葉回収を近隣の住宅65軒で行い、地域清掃を7回行った。作業学習での毎週2回の「さくらカフェ&ショップ」での喫茶・販売活動が地域に根付き、近隣の高齢者施設への出前喫茶等の取組も定着した。これらの特色ある教育活動が認められ、東京都より「東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」を受賞した。今年度は企業等の就労が17%、福祉就労が83%で、就労内定率100%、前年度卒業生の定着率100%であった。夏季休業中に学校の教員等を対象とした清掃研修会を2回実施し、清掃班の生徒が実技支援する体験型研修会をした。煎茶道の外部講師を19回招聘し、日本の伝統文化への興味・関心、理解を深めた。	
目標③	<b>安全・安心な学校づくりと危機管理機能の向上</b> ・地域、関係機関と連携した安全・防災教育の推進 ・地域と連携した宿泊防災訓練の実施 ・ヘルプカードを活用した指導の充実 ・食物アレルギーの対応に関する実践型研修の実施 ・教員の上級・普通救命講習受講と認定証取得の推進	6月に1年生を対象に一泊二日の宿泊防災訓練を実施した。防災教育推進委員会の助言を仰いで改善につなげた。また、台風19号の際には、地域住民の一時避難集合場所として、緊急対応の避難所を開設した。防災非常時対応の自動販売機設置による備蓄飲食物の確保が役に立った。地域の避難所で一夜を過ごした生徒もいたが、日頃の防災訓練や避難訓練等が、非常に活きたと保護者の方から報告をいただいた。生徒全員にヘルプカードを配布し、外出時に所持することを推進した。食物アレルギーの対応については、4月に研修を実施する等して安全対策を進めた。教員の95%が、救命技能認定証を取得し、安全・安心の確保に努めた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校評価の保護者肯定的評価《自立と社会参加に向けて力が身に付いている》(%)	90	94	95	95	95	95	95	91	95	95	95
目標②	進路希望に対する企業・福祉就労の内定率(%)	85	98	95	95	95	100	95	100	95	95	95
目標③	教員の普通救命講習受講と救命技能認定証取得率(%)	90	94	95	95	95	100	95	95	95	95	95

1